

令和6年度 自己評価

安房保育園（保育部）

項目	平均スコア（4段階）
身だしなみはいつも清潔にしている（爪、髪の毛など）	3.56
挨拶は自分から進んで元気よくできている	3.61
時間にルーズにならないよう気をつけている	3.44
季節に合わせた健康管理に気を配っている	3.28
意欲を持って仕事に取り組んでいる	3.56
園の保育理念、基本方針を正しく理解している	3.39
職務上知り得た子どもに関する情報を家族や友人にも話さないようにしている	3.61
子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育ができている	3.28
朝は特に視診を大切にし、子どもの状態把握に努めている	3.22
子どものありのままの姿を受け入れ認めるようにしている	3.33
子ども1人ひとりに丁寧に関わり、スキンシップを大切にしている	3.44
子どもと同じ高さの目線で、話をよく聞くよう努めている	3.17
ほめる、励ますなど、肯定的な言葉かけを意識している	3.11
子どもの家庭環境や生育歴などを考慮して関わっている	3.11
配慮を必要とする子どもについて、職員間で話し合い、共通理解をもって対応している	3.06
保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している	3.39
保育実践の内容や子ども達の様子を写真などを活用して分かりやすく伝える工夫をしている	2.94
個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳などを使って伝え合っている	3
子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するよう努めている	2.94
保護者からの様々な要望、意見については安易に受ける、断る、無視するなどしないで園長や主幹保育教諭に報告や相談をしている	3.39
保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚に話を聞き、園長や主幹保育教諭に連絡、報告、相談している	3.44

職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	3.72
実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している	2.94
中高生の保育体験を受け入れるときは、その目的や意義を理解・確認している	3.17
園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している	3.44
研修会等には意欲的に参加し、一つでも多く学びを得られるよう意識している	3.11
園の遊具や教材について、どんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる	3.33
子ども達の安心・安全に関する危機管理について関心を持っている	3.39
子どもの心身の発達及び生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えて保育をしている	3
仕事中は自分だけではなく他の職員の仕事にも気を配っている	3.17
子どものいるところでは、不必要的会話を慎み、目配り気配りを怠らない	3.17
保護者同士の交流の大切さを理解し、良好な関係づくりに努めている	2.94
専門的な言葉を極力使わずに、分かりやすい言葉で伝える工夫をしている	3.22

総括と今後の課題について記入してください。

職員それぞれが自己のスキルを発揮して主体的に動き、実践の現場ではリーダーが率先して役割を果たしてくれているので、良くも悪くも私が把握できていない事が多くなりました。10年後、20年後の保育園の在り方なども考えながら、外部への発信（広報的な役割）をもっと担っていけるように努力したいと思います。

久しぶりの赤ちゃん組クラスでしたが、担任の先生と話し合いながら楽しく保育できました！言葉が喋れない分こちらがいろいろと考慮してあげなければならぬことが難しくはありましたが、少しづつ成長する姿や関係が構築できていく様子など嬉しく感じることも多々ありました！性格的にのんびり、穏やかにというタイプではないので、赤ちゃん組に入ると子ども達が落ち着かないかなと反省もありましたが、そんな自分も認めつつ他の先生の関わりから勉強したり、前年度よりもおおらかに過ごすことができ新しい考え方や新しい自分にもで会えた気がします！

自分の気持ちの切り替えがうまくいかなかったこともあります、また2年もった前担任カラーがなかなか抜けない子どもたちとなかなか距離が詰められず思つたような成長をさせてあげる保育ができなかった。少しのんびり子どもたちと過ごしたり、関わり話を聞いたりして一つのことにこだわって保育を進めていきたいと思います。

自己評価をつけたが、できているより大体できているの方が多く、まだまだ保育者とし配慮や努力の必要を感じた。来年はできているに、ひとつでも多く自信を持ってチェックが出来るよう意識しながら仕事を行っていきたい。

未満児のクラスリーダーを務めさせて頂き、複数保育者による保育の難しさを感じながら、日々勉強になりました。今後も職員の団結力、チーム力を高めるために先生方へ感謝を忘れずに、コミュニケーションをとっていきたいです。今後の課題は、地域との関わりをもっと増やし、連携出来たらいいなと思います。

子どもたち一人ひとりをしっかり把握しながら丁寧にかかわり、保育者同士でも情報共有しながら保育していくことを大切にしていく。

職員間の声掛けに留意しながら連携をたてていく。

まだまだ家庭に手がかり研修等参加できないことがあり申し訳ないです。出勤できる時に精一杯がんばろうと思う。

前年度はフリーという立場で各クラスの補助に入った。やはりフリーという立ち位置でフォローしていくのは難しいと感じる。各担任の先生方が仕事がしやすいように、子ども達の成長を促しつつ「やってみよう」を楽しめるように、心がけたつもりだったが、先生方の仕事の早さやアイディアの豊富さなどに出遅れを感じ、役立てていたかどうか反省する部分も多い。また、子ども達や先生方が発信する頻度も異なることから、サポートの量みたいなものが偏りがあったのかなとも感じている。今年度は日々の年長担任ということで不安も強いが、子ども達とたくさん話し合いの場を設けながら、一緒に保育を楽しんでいきたいなと思う。迷ったり悩んだりした時は周りの先生方を頼りつつ、職員間の関係性も良好なものにしていきたい。

4月から新たなメンバーでの保育となり、また職員みんなで保育を楽しめるように、チームワークを高めていけるよう頑張りたいと思います。

今年度は、未満児、以上児に入室したが最初以上児ではどこまで手を出していいのか、見守っているだけでいいのか戸惑いがあったが、子ども達と接することでいろいろなことを学ぶことができ楽しく子ども達と触れ合うことができたと思います。未満児は保育者が変わることよりも固定の方が良いと思いました。

自らの仕事に追われて、先を見据えて早めに取り掛かることができていなかった。年間の段取りを書き出したことで、それが少しスムーズになったように思う。監査の準備がいつもバタバタするので、その辺もわかりやすいように整理していきたい。ユネスコスクールについても、計画的に進められるよう職員で検討していきたい。

より一層の専門性に磨きをかけていくため学ぶ姿勢を大切にしていきたい。今後も子どもの育ちを大切にしながら各機関との連携も深めていきたいと思う。

子どものひとりひとり違う個性を理解するよう努めました。保育者間での連携がたりず、家庭での事や、その子に合った対応の仕方など、を共通理解できていませんでした。今後はもっと自分からコミュニケーションをとり、職員間での連携をしっかりとるようにしたいと思います。またひよこ、りす組の担当として、乳児の保育についてももっと深く学んでいきたいと思います。

子どもたちに「したくない、やりたくない」は無しです。「一回チャレンジしてみよう」と指導している一員だけ一番店や今年度からの研修スタイルは、不安が一杯でわがままだけど「したくない、やりたくない」が強いです。

園内研修に参加できていないので、可能な限り参加したい。

4月は1回も遅刻してないから、この評価です。昨年の4~5月は、どうだったでしょうか。記憶が遠いです。今年度は安房保育園だからできることを、たくさん保育に取り入れて、「やってみよう」→「反省」→「改善」→「パワーアップやってみよう」と、取り組んでいきます。

仕事に少しずつ慣れ、保育の中で自分の意見を言えるようになってきました。言えるようになってきたからこそ、担任の思いを尊重し、みんなが気持ちよく保育ができるように気をつけていきたいと思います。